

都市再生整備計画 事後評価シート(案)
古館駅前地区

令和6年1月

岩手県紫波町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岩手県		市町村名	紫波町		地区名	古館駅前			面積	68ha		
交付期間	令和1年度～令和5年度		事後評価実施時期	令和5年度		交付対象事業費	381百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(古館駅前広場、自転車歩行者専用道路1路線) 地域生活基盤施設(古館駅東口駐輪場)										
		提案事業	事業効果分析調査										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名										
		提案事業	削除/追加の理由										
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(自転車歩行者専用道路1路線)／高質空間形成施設(古館駅前広場融雪装置、古館駅前広場バス待合シェルター・ベンチ)			連続した歩行空間の確保による通行者の安全性と利便性向上のため。／駅前利用者の利便性向上のため。			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
提案事業		なし											
交付期間の変更	当初	平成31年度～平成35年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	令和1年度～5年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	地区内に流入した居住人数	人	626	H29	635	R5	689	○	あり ● なし	空家等対策、古館駅前広場等整備、商業施設進出、矢巾町への大学附属病院の移転により地区流入人口が増加した。	R6年4月中旬以降	
	指標2	デマンド型乗合バス利用者数	人(延べ)/年	886	R2	1,171	R5	2,719	○	あり ● なし	デマンド型で便利な予約等や、利用ニーズに合わせた増便と、地区流入人口の増加により、利用者が増加した。駅前広場整備により駅前での乗降が快適になった。	R6年5月	
	指標3	自転車歩行者専用道路の交通量	人/日	5	H30	79	R5	112	92	○	あり なし	主要な施設へのアクセスルートとなり安全で歩きやすいことと地区流入人口の増加が交通量の増加につながった。	
	指標4									あり なし			
	指標5									あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1	地区の空き家件数	件	33	H30			23			古館駅前広場整備、空家等対策、商業施設の進出及び矢巾町への大学付属病院移転により空き家が減少した。		
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 各世帯の事情によるところもあるものの、転出者数が減少している。 地区内の宅地開発により古館駅の利用者数が増加に転じた。 町内の住居系宅地で唯一下落が続いていた地区内の地価が上昇に転じた。 												
5)実施過程の評価			実施内容			実施状況			今後の対応方針等				
	モニタリング	自転車歩行者専用道路の交通量調査		都市再生整備計画に記載し、実施できた			●						
	住民連携による取組			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
						都市再生整備計画に記載し、実施できた							
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
						都市再生整備計画に記載し、実施できた							
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

古館駅前地区(岩手県紫波町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
駅を中心とした持続可能なまちづくり ・快適な交通ネットワーク再構築による賑わいの創出 ・駅を中心とした公共交通網の形成により、高齢者にやさしいまちの実現 ・地域住民の安全安心な歩行空間を確保	地区内に流入した居住人数	単位: 人	626	H29	635	R5	689	R5
	デマンド型乗合バス利用者数	単位: 人(延べ)/年	886	R2	1,171	R5	2,719	R5
	自転車歩行者専用道路の交通量	単位: 人/日	5	H30	79	R5	92	R5



古館駅前広場(基幹:道路)
融雪装置(基幹:高質空間)
バス待合シェルター(基幹:高質空間)
ベンチ(基幹:高質空間)



古館駅東口駐輪場(基幹:地域生活)

自転車歩行者専用道路(基幹:道路)
(町道古館ニュータウン47号線)



地区全域
事業効果分析調査(提案:事業活用)



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・地区流入人口が増加し、空き家が減少した。 ・駅前広場の整備によりバスの乗り入れが可能となり、高齢社会にも対応可能な交通結節点として機能を果たしている。 ・駅前広場の整備により交通動線が整理されるとともに十分な歩道幅員が確保され、利用者の安全性が確保されている。 ・自転車歩行者専用道路の整備により、通学者等が危険箇所を避けて通れる安全な歩行ルートが確保されている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期紫波町空家等対策計画に基づき空家等の予防と適正管理や有効活用に取り組む。 ・地元で組織する古館駅周辺協議会と協働して駐輪場や駅前広場の維持管理及び清掃に取り組む。 ・空家等対策を継続し地区流入人口の増加を図る。 ・地区周辺にある文化財等の観光を通じ、地域の魅力向上と郷土愛の醸成につながる賑わいの創出の取り組みにより、地域交流の活性化を図る。 ・バス乗り場について、路線バス等の乗り入れが決まるまでの間、デマンド型乗合バスや一般送迎車両による利用などを検討する。 ・現在進行中である岩手県の道路環境改善事業による歩道整備が円滑に進むようにサポートする。